

数学科（ 数学 ） 学習指導案				
日 時	令和6年6月17日（月）第2時限		指導者	福岡 響
学年・組	3年3・4組（前期課程）		場 所	413教室
単 元	第5章 図形と相似		教科書	未来へひろがる数学3（啓林館）
単元の目標	1 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確認することができる。 2 図形の相似について学んだことを生活や学習に生かそうとすることができる。	指 導 計 画	1 図形と相似・・・4時間 2 平行線と線分の比・・・4時間（本時はその4時間目） 3 相似な図形の計量・・・2時間 4 相似の利用・・・2時間、5 章末問題・・・2時間	
単元の評価規準	知識・技能	1 平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解できる。 2 基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と表面積の比や体積の比との関係について理解できる。		
	思考・判断・表現	1 三角形の相似条件などをもとにして図形の性質を論理的に確かめることができる。 2 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを証明することができる。 3 相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。		
	主体的に学習に取り組む態度	相似な図形の性質のよさを実感して粘り強く考え、図形の相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、相似な図形の性質を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりできる。		

本時の指導

本時の指導過程	主題	平行線と線分の比の活用			
	目標	1 生活の場面において、平行線と線分の比の性質を見だし、それを証明できる。 2 自分の考えを数学的な根拠をもとに、他者に説明できる。			
	課題	課題プリント（平行線と線分の比を利用する問題）を解いておく。			
		学 習 活 動	単 位	指導上の留意点	評価方法・資料等
	導 入	1 本時の目標を確認する。	5	・これまでの学習内容を振り返り、整理をさせる。	・プロジェクタ ・パソコン
	展 開	1 街灯の近くを歩く人の影の先端がどう動くか考える。 (1) 影の先端の軌跡を予想する。 (2) モデルを使って行った実験結果を見る。 (3) 実験結果が正しいか証明する。	25	・他者の意見を否定せず、自由な発想で考えさせる。 ・仮説を立てるときにモデルを活用すると有効であることを実感させる。 ・2つの投影図を用いて証明するように促す。	・プロジェクタ、パソコン ・ワークシート、問題プリント 【評価規準】 ○平行線と線分の比についての性質を見だそうとしたり、それらを確認しようとしていたりしている。 <主体的に学習に取り組む態度> 【評価方法】 ○ワークシートへの記述の観察
	開	2 2019年佐賀県の高校入試問題（光源を光らせたときに映る図形の影に関する問題）を解く。	15	・図を用いて考えさせる。 ・数学的な根拠をもとに説明させる。	【評価規準】 ○図を用いて、問題が解けているか。 <思考・判断・表現> 【評価方法】 ○問題プリントへの記述内容の確認
整 理	1 本時の学習の振り返りを行う。	5	・数学での学習内容が身近な場面で生かせることを実感させる。		
備 考	生徒数 41名				

